

国が学童保育の来年度予算案を発表

2010年12月24日、厚生労働省の来年度予算案が発表されました。

学童保育（放課後児童クラブ）に対する国の補助金予算は、2010年8月に厚生労働省が財務省に概算要求した343億9200万円から36億4200万円少ない金額の307億5000万円になりました。この予算案は、2010年度予算と比べると33億3000万円の増額です（12%増）。

2011年1月から始まる通常国会で予算審議がされ、政府予算案が可決されれば、正式な予算となります。

8月の概算要求より少なくなったのは、3年間限定で出されていた政府の「安心こども基金」（学童保育の施設整備等にも活用できる）が、2010年度で終了する予定でしたので、厚生労働省は、それも見込んで施設整備等（「施設賃借料」など）を含めて要望していましたが、年末に、2011年度も「安心こども基金」が継続することになったので、その相当分が減ることになったためです。

運営費などの補助単価は、1月20日に開かれる全国厚生労働部局長会議で示されます。時間延長分の単価と運営費の補助単価の引き上げをしているとのこと。

* 下記の厚生労働省の担当課（育成環境課）作成の予算案資料も参照してください。

* 1月20日に発表される補助単価も、このホームページで紹介していきます。

放課後児童健全育成事業の補助金の推移

単位：円

	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度案	前年比
総額	158.49億	184.94億	234.53億	274.20億	307.50億	33.30億増
運営費	138.45億	161.32億	176.22億	234.85億	265.48億	30.63億増
施設整備費	18.14億	23.64億	56.68億	38.11億	40.75億	2.64億増

(全国学童保育連絡協議会作成)

平成23年度子ども手当・児童健全育成対策関係予算案の概要

厚生労働省雇用均等・児童家庭局育成環境課作成の資料から（抜粋）

2. 放課後児童対策の充実 30,750百万円（前年 27,420百万円）

放課後児童クラブと文部科学省が実施する「放課後子ども教室推進事業」を一体的あるいは連携して実施する「放課後子どもプラン」の着実な推進を図る。

また、放課後児童クラブについては、「子ども・子育てビジョン」等を踏まえ、クラブを利用したい人が必要なサービスを受けられるよう、受入児童数の拡大に必要なソフト・ハード両面での支援措置の拡充を図る。

(1) 放課後児童クラブ運営費（ソフト事業） 26,548百万円

○ 放課後児童クラブの設置・運営の促進（「小1の壁」の解消）

保育サービスの利用者が就学後に引き続きサービスを受けられるよう、放課後児童クラブの所数の増（24,872か所 → 25,591か所）や開設時間の延長の促進を図るとともに、補助基準額の改善を図り、放課後児童対策を拡充する。

(2) 放課後児童クラブ整備費等（ハード事業） 4,075百万円

① 創設整備費の補助【児童厚生施設等整備費】

受入児童数の拡大に必要なか所数増に対応する創設整備費の補助を行う。

② 改修費及び設備費補助の実施【放課後子ども環境整備等事業】

既存施設（学校の余裕教室等）の改修による放課後児童クラブ室の設置や、大規模クラブ（71人以上）の解消を図るための改修等を推進する。

(3) 放課後子ども教室推進事業（文部科学省所管）との連携促進等 127百万円

放課後児童クラブや、文部科学省が実施する「放課後子ども教室推進事業」と一体的あるいは連携して実施する「放課後子どもプラン」の円滑な実施を図る。

（全国学童保育連絡協議会作成資料）